

秋田市の先人たち

昭和の劇作家評伝作家

青江舜一郎

明治三十七（一九〇四）年生

昭和五十八（一九八三）年没

茶町梅ノ丁（現、大町四丁目）生まれ



主な事蹟

昭和十二年「河口」、同十四年「一葉舟」などの戯曲を発表。戦後は「西太后」「黄炎」などの戯曲を世に送り出す一方、草創期のテレビドラマの脚本も数多く執筆した。昭和三十三年、長編戯曲「法隆寺」で第五回岸田演劇賞を受賞。晩年は、民俗学的見地からの演劇研究書や評伝の執筆に力を注ぎ、秋田県の先達である内藤湖南や狩野亨吉の評伝も発表している。